

JPホーガン『断絶への航海』の あらすじとメモ

takaidos

あらすじとメモ

原題"Voyage from YESTERYEAR"(昨年からの船出)

ジェームズPホーガン。

1982年発行。

小隅黎・訳。

1984年。

実際の世情。

1979年、イラン、イスラム革命でホメイニ師による統治開始。

ソ連、アフガニスタンへ侵攻。アメリカ、パキスタンを通して対峙。

1980年、サダム・フセイン、イラン領に侵入。イラン-イラク戦争。

1991年、ソ連崩壊。

本書における近未来(ベルリンの壁やソ連崩壊前に書かれた)。

2015年、核融合普及。23年間の対峙が続き米ソによる第三次世界大戦の危機が迫っていた。争点は石油から無機鉱物(レアメタル)へ。中

国と日本は東亜共栄圏。

NASDOと日中は共同で人類の移民できる惑星を探すプロジェクト『スターハイヴン・プロジェクト』の遂行に取り掛かる。

2020年、自動探査船SP3(観音)は太陽系を離れて居住可能な惑星を探索する旅に出る。

2021年、第三次世界大戦で米欧、ソ連帝国荒廃。日中インドが東洋で支配権拡大。

2040年、恒星間探査船・観音(クワン・イン)から通信が入る。

2050年?アメリカ、月面基地を復活させる。

新アメリカ:アラスカからパナマを領有。

ヨーロッパ:ロシア、エストニア、ウクライナも独立国として版図に治める。

中国:パキスタンからベーリング海峡にまで及び東亜連邦(EAF)の盟主となる。

2060年、メイフラワー2世号、惑星ケイロンへ向けて出発。

2076年、地球。東亜連邦がニュー・イスラエルの紛争に介入。アジア、アフリカ、ヨーロッパに対する支配欲を表す。

2081年、メイフラワー2世号、ケイロンへ到達。

2083年、東亜連邦の移民船がケイロンに到達。

2084年、ヨーロッパ連合の移民船がケイロンに到達。

2085年、メイフラワー二世号、ヘンリーBコングリーヴ号として再就航。

・名作!!いろいろと考えさせられる。

・ケイロン社会の背景は、人間の数に対して無尽蔵の資源と自動工場で生活用品の何もかもが作られ、歴史的な過去を持たない(=国同士

、民族同士の過去の因縁などが無い、宗教の入り余地?がない)。貨幣経済なし。

・人間中心で宇宙人(知的生命体)は出て来ない。

・冒頭は全体像を説明せずに詳細を語って行くのでスタートが理解しにくい。

・太陽系内の惑星の植民状態については述べられていないで、いきなり4光年離れたアルファ・ケンタウリ恒星系への植民の話が出て来る

。

・恒星間宇宙船の、船内時間と地球時間の差について言及がない。

→船内時間は片道20年間だが、光速の4分の1の速さで航行の場合、どの程度の時間差が生じるのか?

・初めてケイロン人と地球人が会ったら、お互いが育った環境や生活など話すことがいろいろあ

と思うが、今ひとつ。

たとえばドリスコルたちとケイロン人は初対面、2回目でトランプゲームに興じるが、ゲームより付近の探索とか、地球のこと、恒星船の

生活とか話題が尽きないと思う。

ケイロンの風景、動植物など見るに値する興味深いものがあるはず。

→つまり、新しい惑星について脱線してでももっとたくさん描いてほしいほど、面白かった。

・ケイロン人を文明教化しようと、地球からはるばる20年かけてやって来た地球人は、あらゆる面で肩透かしを喰い、科学技術の面でも

地球を超えていることに気付き、紛争の危機が近付いて来る流れにはハラハラさせられる。

と同時に地球側でなおも同じ社会体制で権力を掌握しようとする者、団体の慌てぶりが滑稽でもある。

★★★★★

<目次>

～目次ではなく目次番号しか無いため簡単な内容を示す。

プロローグ～2015年、スターハイヴン・プロジェクトの発表

第1部 メイフラワー二世の旅

- 1.恒星間宇宙船メイフラワー二世号の中で、惑星ケイロン征圧のための軍事演習
- 2.技術司令メリック、コールマン軍曹の技術部への移籍を拒否
- 3.メイフラワー二世号の概要。ファロウズ、コールマン軍曹に残念な知らせ
- 4.メリーランド・モジュールのファロウズ家、物理学者パーナックとジェイの会話
- 5.惑星ケイロンの概要とケイロンに対する外交・戦略についての首脳部会合
- 6.ハワード・カレンズの野心と選挙対策
- 7.マンハッタン・モジュールでのコールマンとジェイの会話。セリア・カレンズ。
- 8.コールマンによる疑問
- 9.2081年1月10日、メイフラワー二世号、ケイロンの自由軌道に戦闘態勢のまま到達。

第2部 ケイロン人

- 10.メイフラワー二世号、観音号とドッキング。副使節団、ケイロン人たちと会う。
- 11.観音号内でのケイロン人や人間型ロボットたちとの会話。
- 12.メイフラワー二世号内で最高幹部会議。ケイロン支配方法について。
- 13.バーナードはジェイを伴ってマーケットに行き、地球人の牧師がケイロン人の子供達にやり込められているところを目撃する。
- 14.ケイロン代表者は不明。幹部会は核融合コンビナートを押さえる計画を立てる。
- 15.セリアの苦悩。ケイロン人の彫刻。
- 16.バーナードとジェイがポート・ノルディの核融合コンビナートを見に来ると、幹部や軍人たちもやって来た。バーナードは指示・命令

系統が無く対立する事態が起きた時、ケイロン人はどうするかナヌークとユアニタに訊くと「射殺する」という。

17.中国の移民船パゴダの到着を2年後に控え、ケイロン統治下に置いていないカレンズたちは焦り、安全保障上の理由から長官に独裁権

を持たせられないか法律上の検討をする。

18.ジェイとコールマンはアダムの家を訪問し、ケイロン人の複雑な家族関係や無宗教・現実主義を知る。

19.衆議院議員レチェット、物理学者パーナックとケイロン人の富と社会について語る。

20.パダウスキーの仲間がケイロンの女性にからみ、射殺される。ケイロン人は全てが無償を疑問に思うコールマンに「ケイロンでは10歳

になると自然と何かで社会貢献しようと思いつく」という。

21.ハワード・カレンズは射殺された兵士も利用して地球人がケイロンに秩序ある社会を構築して行くべきだ、と唱える。

ジーンは周りの人間がケイロンの社会に取り込まれて行くことに反対だった。

22.コールマンら兵士たちとキャスの家族、ヴェロニカ、シャーリー、サイのパーティー。

23.コールマンはキャスに観音号の改造は反物質を利用したものと聞く。パダウスキー、アニタたちが軍を脱走。

24.パーナック、ケイロンの量子論の優秀さに気づく。カレンズがケイロン人統治の糸口をつかもうと、より活動的に動いていると知り、

レチェットを支援しようと思いつく。

25.バーナード、上司のメリックに緊急事態に備えて核融合コンビナートの操作を覚えろと命令されるが、職を辞す。

パーナック、ファロウズ邸を訪れ、軍が動けばケイロンは隠している大型兵器を出して来るかもしれないという。

26.地球側陰謀によるテロ事件とその後の反ケイロン・デモ勃発。カレンズはケイロン総督になることに成功する。そしてカナヴェラル市

内に地球側の領有宣言をすることで同意を得る。脱走兵24人のうちほとんどが自滅してケイロン人によって軍に送り届けられる。

第3部 フェニックス

27.地球人は領有地フェニックスに移り住み始め、旧来の秩序・貨幣経済の中で暮らし始めようとする。しかし人口流出は止まらない。

ジーンもケイロン人の生き方を理解し始めた。

28.セリア・カレンズは軌道上のメイフラワー二世号に行き、副長官マシュー・スタームに助けを求める。

29.カレンズが暗殺される。

30.スターム、SDのストームベルを従えて、最高幹部会を拘束。フルマイア、ファロウズ邸にいたレチェットに緊急連絡。ジェイ、フェニ

ックスにいるコールマンに状況を訊きに行く。ヴェロニカもコールマンにセリア脱出の手引きを頼み行く。

31.コールマン、セリアを無事脱出させ、ファロウズ邸に合流。

32.セリアの告白。

33:キャスの家でケイロンの戦略兵器担当の6人と会い、スタームの陰謀を止める作戦を立てる。

34:シロッコによる作戦の説明と質疑応答。スワイリー、マロイらの復帰。

35.ストームベルは明日早朝決行の作戦を確認。観音号への攻撃体制も十分だった。地上からメイフラワー二世号へ上がる予定だったC中

隊のスケジュールが待機になりD中隊に変更された。

36.シロッコ率いるD中隊、メイフラワー二世号に到着。拘禁されているウェルズリーとボルフタインを救い出し、通信センターを占拠。

ウェルズリーとセリア、スタームの陰謀を暴露。

37.戦闘モジュールを守備するSD部隊寝返り。コールマン、スタームがすでに戦闘モジュール内にいることに気付く。

38.スタームからケイロンへの降伏勧告とミサイル発射カウントダウン。ケイロン側、意外な方向からのビーム攻撃でスタームの乗る戦闘

モジュールを攻撃。

39.ウェルズリー、レチェット、ボルフタイン、軍の解散、フェニックスの解散を宣言。ケイロンの植民地化は無くなる。

第3部 フェニックス

エピソード.5年後の風景。

解説/SF作家・山本弘「ケイロン人社会と囚人のジレンマ」

<登場人物>

ヘンリーBコングリーヴ:2015年に68歳。NASDO(北米宇宙開発機構)の総裁。宇宙避難所計画(スターヘイヴン・プロジェクト)を立案？

シロッコ大尉:ならず者部隊・D中隊を率いる。コールマンの親友。

スティーブ・コールマン軍曹:D中隊。演習を指揮。ファロウズの息子の軍事教練士官。金髪。熱力学の専門家夫妻の養子。16歳で金持ち

の息子を叩きのめして技術者の道をあきらめ軍に入隊。技術職と政治に関心がある。★

スワイリー伍長:D中隊。メガネ。見えない敵の位置を検知できる能力を持つ。★

ウェッサーマン大佐:

スタニスラウ:D中隊、第3小隊レーザー手。

ブレット・ハンロン:第2小隊。軍曹。コールマンの戦友。白兵戦の教官。

アニタ:旅団司令部暗号係。

トニー・ドリスコル一等兵:両親は早老症で、8歳でメイフラワー二世号に搭乗。カードが得意。

カーソン:D中隊兵士。

マードック:D中隊兵士。

フラー:D中隊兵士。

マイク・アームリイ:D中隊軍曹。

マロイ:元SD軍曹。

パダウスキー:B中隊軍曹。コールマンと敵対。

ブルース・ウィルソン:B中隊。バー『二つの月』でケイロン人に射殺される。

ダン・レムリー:B中隊。バー『二つの月』でケイロン人に脚を撃たれる。

カズミエラ・ストームベル:特殊任務部隊(SD)の指揮官。将軍。

ポーラ:マンハッタン・モジュール、バワリー亭の娘。一般市民。ケイロンでカードも。

テリー:マンハッタン・モジュール、バワリー亭の娘。一般市民。

サム:バワリー亭のオーナー。

精神医:シュリンク。

ザングレニ:テレビに出て来る心霊能力者。

NASDO:北米宇宙開発機構。

宇宙避難所計画:スターヘイヴン・プロジェクト。

バーナード・ファロウズ:恒星間宇宙船メイフラワー二世号の士官。2032年生まれ。2060年にメイフラワー二世号で出発。第六階層。★

ホレース:同乗員。

クリフ・ウォルターズ:同乗員。副センター主任。

レイトン・メリック:技術局次長補。第四階層。

ガウリッツ:ストームベル配下の技術者。

ジーン・ファロウズ:バーナードの妻。生物学専門。ケイロンでの新世界づくりを夢見て来た。保守的。

ジェイ・ファロウズ:バーナードの長男。15歳。メイフラワー二世号内で生まれ育った。コールマンに手伝ってもらって機関車を作っている

る。★

メアリー・ファロウズ:12歳。バーナードの娘。メイフラワー二世号内で生まれ育った。

ジーヴズ:ファロウズ家のコンピュータの名称。

ジェリー・パーナック:バーナードの友人。物理学者。ジェイの学校の講師でもある。★

イヴ・ヴェリッティ:ジェリーのフィアンセ。元教育庁事務員。

ガーフィールド・ウェルズリー:メイフラワー二世号の派遣団長官。60代。20年に渡って地球代表権を務める。ケイロン入植に関しては中

道。

ハワード・カレンズ:外務局長。惑星ケイロンの政府長官として有力視される。ケイロンを植民化した上で地球からの独立を考えている。

★

セリア・カレンズ:ハウードの妻。40歳。コールマンを火遊びの相手にしている。★

ヨハネス・ボルフタイン:メイフラワー二世号の遠征軍の最高司令官。将軍。ジョン。特殊任務部隊と正規軍部隊の長。

マーク・スレッサー:メイフラワー二世号の提督。船長。

マシュー・スターム:メイフラワー二世号派遣団副長官。

ルイス:報道関係者。

ジラード:

ガウリッツ:カレンズは科学に大衆が近づき過ぎないように、畏敬を保つように期待。古代エジプトを理想とした。

派遣団司祭長:ケイロン人に教義を施しに来た。

エイメリー・ファーンヒル:ケイロン到着時の副使節団代表。自動探査船・観音号へ。

ポートニイ:将軍。副使節団の護衛。

マーシャ・クォーリー:商業系圧力団体の利権代表。

クレイフォード副総督:スレッサーの次席。

クレイフォード夫人:銀の食器が気に入る。

ヴェロニカ:セリアの友達。赤毛。ケイロン人ケイシーと付き合う。★

フランク・ホスキンス:技術者。ケイロンの核融合コンビナートを視察に行く。

ウォルターズ:技術者。ケイロンの核融合コンビナートを視察に行く。のち消える。ケイロンに走る？

ウィリアム・フルマイア:判事。最高裁長官。

ポール・レチェット:衆議院議員。穩健一途、偏見を廃して科学的で厳密な解釈・判断をする。イベリア大陸への入植を主張。ケイロン人

との分離政策。★

ラミッソン:議会を解散してケイロン人への同化を主張。

マクファースン:メイフラワー二世号・通信および資料センターの所長。

レズリー:少佐。SD部隊。

ジャーヴィス:大尉。SD部隊。

ショウレツ:中尉。SD部隊。

ブラッド:少佐。SD部隊。

オールドセン:大佐。SD部隊。

●ケイロン人:宇宙船SP3(観音/クワン・イン)内で試験管から生まれてロボットに教育され、その後ケイロンに降り立ち、現在では第4世

代まで誕生している。メイフラワー二世号が到達した時、ケイロン人の最年長は40歳。

以下、ケイロン人。

クレム:観音号でメイフラワー二世号の副使節団を待っていたケイロン人。一般技術要員の元締め。30年代後半。ずんぐり。
カーラ:観音号に乗っていたケイロン人。
ハーマン:ケイロン人。観音号の特別研究プログラムと改造。20代。
フランシーヌ:観音号に乗っていたケイロン人。
ボリス:観音号に乗っていたケイロン人。
クロムウェル:人間型ロボット。船のコンピュータと連結。設備の使用割当、スケジュール管理。
エイミー:8歳くらい。ケイロン人の黒人少女。
ウェリントン:人間型ロボット。頭部は透明、鼻のあたりにカメラ。
シャーリィ:30代、赤毛のケイロン女性。オリーブやブドウ栽培、インテリアデザイン。
サイ:20代、金髪のケイロン女性。シャーリィの娘。電子技術、地下架線敷設、読み書き。観音号で兵士ドリスコルと知り合う。

マーフィ:ケイロン人中国系。妹はチェロ奏者。ジェイの山登り仲間。
チャン:ケイロン人黒人。ジェイの山登り仲間。
ラストス:ケイロン人金髪碧眼の白人。ジェイの山登り仲間。
サラ:ケイロン人創始者ブロンド巻き毛。ジェリーの知人。
アブドゥル:ケイロン人エスキモー風。大工。孫がいる。ファロウズの家の家具を製作。
ヴァン・ネス:バーで女性にからんだ兵士ウィルソンを射殺した銃の名手。

アダム:チャンの友人。キャスの息子。前妻、現在の妻それぞれの間に子供がいる。
ケイシー:キャスの息子。アダムの双子児。ヴェロニカの恋人。
ラーチ:アダムの家のホーム・ロボット。少し壊れている。
キャス:アダムの母親。核融合コンビナート建設に関わる。★
レオン:アダムとケイシーの父親。キャスの元夫。黒いあご髭。創始者。○。
ティム:アダムの息子。11歳。
ポピイ:アダムの息子。10歳。
スージー:アダムの息子。8歳。
バーバラ:アダムの現在の妻。
フーヴァー:マンデル雑貨商会フランクリン・アウトレットのロボット経営者。
ナヌーク:核融合コンビナート、制御機器の操作員。ケイロン人ポリネシア系。
ユアニタ:核融合コンビナート、経理。

セルマ:ケイロン戦略兵器担当。褐色の肌の女性。創始者。○。
オッター:ケイロン戦略兵器担当。東洋的な顔立ち。創始者。○
チェスター:ケイロン戦略兵器担当。黒人。創始者。○
グレイシー:ケイロン戦略兵器担当。東洋系。創始者。○
スミシイ:ケイロン戦略兵器担当。白人。創始者。○

<あらすじ>

NASDO総裁コングリーヴの演説。

2015年、23年間の対峙が続き米ソによる第三次世界大戦の危機が迫っていた。

5年後には無人探査船SP3が太陽系外へと旅立って行く予定だった。

NASDOと日中は共同で宇宙避難所計画を推進して行くことになった。

SP3の後継機は"観音"と名付けられ、人類の胚を船内でロボットに育てさせ、ケイロンに植民を成功させていた。

恒星間宇宙船メイフラワー2世号での船内軍事演習。

メイフラワー二世号は惑星ケイロン(Chiron)への到着3ヶ月前(船内時間)。

秒速4,539km(2,837マイル)でケイロンに接近し減速。光速の7分の1ほど。

2081年、代表团同士の会見の前に、ケイロン側の代表者のリストを求めるが返信なし。

戦闘態勢を取りながら、メイフラワー二世号はケイロンに接近し自由軌道に乗る。
メイフラワー二世号から副使節団がシャトルに乗って観音号に乗り込む。
待っていたのは、最年長が40歳近いクラムと若者、子供達、ロボットだった。
ドリスコルたちは自分たち地球人とケイロン人たちの違いに驚く。
彼らは代表者を持たず、悪意がなく、自分の知りたいと思うもののしくみを探求していた。

ハワードたちはケイロン人たちが陰で武装し機会を伺っているのではないかと用心するが、ケイロンの首都フランクリンに市民と軍隊を

降ろすことにする。
ハワードにとってはそれも選挙政策の一環であった。

ファロウズ一家。
フランクリンに降下して与えられた家は広過ぎ、街での買い物は全て無料だと知る。
バーナードはジェイを伴って街中の雑貨商会に行き、買い物の様子を見る。
地球から来た牧師が辻説法をしているが、ケイロン人の子供達やり込められているところを目撃する。
「実験で証明されていないものを信じるわけには行かない」

メイフラワー二世号最高幹部会議。
どうやらケイロンは無政府状態ということを感じ始める。
ケイロン人を統治下に入れるためにその富と資源を押さえようとすれば、ケイロン人の代表層が出て来るかもしれないと考え、建設しよ

うとしている核融合コンビナートとメイフラワー二世号の交換見学会を実施してみることにする。

ケイロン人のキャスは地球人に核融合炉を十分に見せ、コールマンのような軍人にも紹介しようとする。

ジェイとコールマンはキャスの息子アダムの家を訪問し、そこでケイロン人の一夫多妻、一妻多夫を知る。
宗教について訊いてみると、アダムは自分たちはいつも現実の大変さに向き合っているといい、キャスはその宗教というものが強迫観念

に基づくものであるなら否定するし、愛とか前向きなものであれば、すでにケイロン人も宗教を持っていると言えるかもしれないという

。中国の移民船が到着する前にハワード・カレンズはケイロンを統治下に置きたいと焦る。
そのため長官になって独裁権をふるえないか、最高裁長官フルマイアに掛け合う。
フルマイアは衆議院議員レチェットに相談する。
レチェットは物理学者パーナックとそのフィアンセのイヴと話す。
最高幹部会は地球から来た地球人をケイロン人の都市フランクリンから離れた場所に入植してはと考えていた。

しかしパーナックは、彼らの富はもはや奴隷でも領土でもない、技術が欲しいものを全て無償で提供してくれる、他人に認められる能力

こそ彼らの財産なのだ、という。
そしてパーナックはケイロン人の招きに応じて、ケイロン学校で教鞭を取ることにした、という。

パー『二つの月』で、B中隊のパダウスキーたちがケイロン人女性にしつこく迫り、ひとり射殺さ

れる事件が発生する。

ハワード・カレンズは兵士が射殺されたのは、現在の長官ウェルズリーの施策が緩いからだ、と
いい自分たち地球人がケイロンに秩序あ

る社会を構築して行くべきだと唱える。

同時に選挙に立候補するレチェットの分離政策(地球人はケイロンの都市フランクリンから離れた
場所に入植する)にも拒否の姿勢を示す

。

ジーンは周囲の地球人がケイロンの社会に取り込まれて行くことに苦悩する。

彼女はケイロンに自分が理解できる理想社会を夢見て20年の旅路を過ごして来たのだった。

コールマンら兵士たちやその友人と、キャスの家族、シャーリー、サイたちが一同に集まってホ
ームパーティー。ヴェロニカの恋人はア

ダムの双子児ケイシーだった。

キャスとコールマンは深い仲になる。

コールマンは観音号の改造についてキャスに訊く。

観音号は現在反物質を利用した航法に改造されつつある、と聞く。

軍からパダウスキーアニタたちが脱走した。怪しい指令のほか、脱走者たちがどうやっても武装
したのか不可解な事件だった。

物理学者パーナックはケイロンの量子論が別方向だが非常に進んでいて、すでにスモール・バン
を手に行っていることに気がつく。またカ

レンズがケイロン独裁統治の糸口をつかもうとSDを遣って活動していることに危惧を抱き、ジ
ーンといっしょにレチェットを支援しよう

と考え始める。

バーナードは上司メリックの命令を拒否して職を辞す。ケイロン人は地球人の一部が犯罪を働い
ても、地球人を一括りにして非難したり

報復をして来ないと悟っていた。

ファロウズ邸。

パーナックはケイロンが高度な科学を持っていて、軍が下手に動けば隠している兵器を出して来
るかもしれないと危惧する。

地球人をイベリア大陸に集めるというレチェットの施策はかえって裏目に出る。

ジェイはケイロン人の描いた絵の中の月レムスに謎の焼跡を発見し、パーナックとバーナードは
確信する。

地球側陰謀による自作自演のテロ事件で死傷者が出てとその後の反ケイロン・デモ勃発。

ケイロン人は我関せず。

カレンズはケイロン総督になり独裁政治への足がかりを得る。そしてカナヴェラル市内に地球側
の領有宣言をすることで同意を得る。

イベリアへの入植案は延期。

脱走兵24人のうちほとんどが自滅してケイロン人によって軍に送り届けられる。

その中にはアニタの遺体もあり、生き残った3人の中にはパダウスキーもいたと聞く。

地球人は領有地フェニックスに移り住み始め、旧来の秩序・貨幣経済の中で暮らし始めようと
する。しかし人口流出は止まらない。

ジーンもケイロン人の生き方を理解し始めた。

このままだとハワードは破滅すると考えたセリア・カレンズは軌道上のメイフラワー二世号に

行き、副長官マシュー・スタームに助けを

求める。

フェニックスでは不動産抵当権の申請・登録を行わないケイロン人の追い出しを続けていた。地球人もフェニックスからどんどん流出して行き、新しい長官の選挙も意味を失いつつあった。そしてカレンズが暗殺された。

メイフラワー二世号上で、スタームがSD部隊ストームベルを従えて、最高幹部会を拘束。テロやカレンズ暗殺をケイロン人の仕業と発表して全軍を掌握。ジェイ、フェニックスにいるコールマンに状況の確認に行く。ヴェロニカもセリア救出への協力を依頼しに来る。コールマン、ヴェロニカ、無事セリアを救出し、ファロウズ邸に合流する。コールマンは、ケイロン人は観音号反物質エンジンを搭載しているので、観音号に大型兵器を搭載していると考えつく。セリアは自分がカレンズを撃ったと告白する。しかしそれは暗殺に仕立てられ、スタームはそれを利用しようとしているという。キャスのアパートに行き、ケイロンの6人の創始者で戦略兵器担当とオンラインで会う。キャスの元夫レオンも6人のうちのひとりだった。コールマン、レチェットはセリアとメイフラワー二世号に戻り、通信室からスタームの陰謀を暴露することにする。スタームたちはフランクリンを征圧するための兵器も地上に下ろそうとしていた。シロッコはスタニスラウに部隊配備計画ハッキング修正の準備をさせて作戦の質疑応答をする。そこへスワイリーや元SD軍曹のマロイが

復帰・合流する。

ストームベルは明日早朝決行の作戦を確認。観音号への攻撃体制も十分だった。地上からメイフラワー二世号へ上がる予定だったC中隊の

スケジュールが待機になりD中隊に変更された。

シロッコ率いるD中隊、メイフラワー二世号に到着し拘禁されているウェルズリーとボルフタインを救い出す。

通信センターを占拠してウェルズリーとセリア、スタームの陰謀を暴露して兵士たちを動揺させる。

戦闘モジュールを守備するレズリー少佐らSD部隊が寝返る。コールマン、スタームがすでに戦闘モジュール内にいることに気付く。戦闘モジュールに繋がる4つの入り口へ猛攻開始。

スターム、観音号がケイロン星の陰に入ったところで、ケイロンに対して降伏勧告。北セレーネのケイロン科学基地にミサイル攻撃の照準を合わせてカウントダウン開始。ケイロン、ロムルスから物質消滅ビーム発射して戦闘モジュールを破壊。

ウェルズリー、レチェット、ボルフタイン、軍の解散、フェニックスの解消、議会の解散を宣言。ケイロンの植民地化は無くなる。

5年後の風景。

コールマンとキャスの間に4歳のアレックス。
シロッコとシャーリーの間に双生児の娘。
ハンロンとジャネットの間にふたりの子供。
ドリスコルはマジックショーのツアー。
スタニスラウ、コンピューターの権威に。
スワイリーは映画監督。

ジーン・ファロウズは生化学研究。
メアリー・ファロウズは生物学の勉強。
ジェイ・ファロウズ、20歳でひとり息子の親。旧式鉄道を設計。
ヴェロニカは建築設計。
ウェルズリーはオクシデナで農業。
セリアとレチェットは海岸の家に住む。

あとから来た諸々の人種はすべてケイロン人になっていた。
地球ではホロコーストが勃発したあと、通信が途絶えていた。

メイフラワー二世号はヘンリーBコングリーヴ号として再就航し、レチェットを派遣団長官として、ファロウズ、アダム、コールマン、キ

ャスらを乗せて数ヶ月後に地球へ旅立つのだった。

<メモ>

恒星間宇宙船メイフラワー2世号。
月の軌道上で建造された。
全長9.6km以上。軸部(スピンドル)を中心に回転する直径9.6km(全周28.8km)の環を持つ。
総重量1億4千万トン。乗員3万人。
核融合エンジン。磁気でラム・スクープした3500万トンの水素を毎秒2トン使ってエネルギーに変換する。
推力と環の遠心力で擬似重力を生み出せる。
16のモジュールを持ち、メリーランドやグランド・キャニオンを模したモジュールもある。
戦闘モジュールは全長1.6kmで切り離すと独立して宇宙戦艦になる。
船内は計画出産。

宇宙避難所計画(スターヘイヴン・プロジェクト)は、アルファケンタウリ系の植民可能な惑星に人類の胚を送り込み、ロボットに育てさ

せて植民するというもの。

JPホーガンは第三次世界大戦で欧米、ソ連が一時的に荒廃し、地球の反対側は異教徒によって退廃し、アラブが中央アジアに押し付けて

いる統一の幻想が暴露され、アフリカ軍閥は内部闘争によって疲弊する。その後、アメリカ新秩序がヨーロッパを再吸収して勝利を手に

するという未来を考えている。

カレンズの考え。
資格も価値もない人間に権力を持たせたり政治に関与させると紛争に繋がる。
ヨーロッパとアジアが関与すると墮落する。墮落しないようにリードできるのはアメリカ。

アルファ・ケンタウリ系の惑星ケイロンまで片道20年。
他の3つの大惑星はポロス、ネソス、エウリュティオン。
惑星ケイロン。
直径約9千マイル。
ニッケル-鉄の中心核は地球より小さく、表面重力は地球と同じくらい。
自転周期は31時間。緯度による気候の差は激しい。

アルファケンタウリ・ケンタウリA星を419.66日で一公転する。

月は二個。ロムルスとレムス。

35%は陸地。

テラノヴァ大陸、セレーネ大陸、アルテミア大陸。

テラノヴァ大陸の中央にはケイロン内海があり、東のオリエナ大陸と西のオクシデナ大陸に分断している。

惑星には動植物もあったが、知的生命体はまだ居ない。

メイフラワー二世号が到着した時のケイロンの人口は予想を上回り10万人になっていた。

国際宇宙ステーションの軌道速度は秒速7.66km。

光の速さは秒速30万km。

ガジェット

通信コム:コンピュータにアクセスする携帯端末。

核融合炉

自動工場

マグレブ:磁気浮揚鉄道

反物質エンジン

軍隊

D中隊兵士数100名。

ほかにA～C中隊とSD(特殊任務部隊)がある。



惑星ケイロン入植地

